



太陽から地球まで、どうやって熱がとどくの

熱の伝わり方には、三つの種類がある

熱の伝わり方には、伝導・対流・放射の三つの種類があります。

伝導は、鉄の棒を暖めたときのように、熱が、暖められた所から順に伝わっていく、伝わり方のことです。

対流は、ストーブで部屋の空気を暖めたときのように、暖められた空気が上に上がり、そこへ、まわりの冷たい空気が流れこみ、また、この空気が暖められて上に上がる、ということくり返して、部屋全体が暖まっていく、暖まり方です。

放射は、ストーブの前にいるときのように、ストーブの熱が、直接、体に伝わってくる暖まり方です。

太陽の熱は、放射によって伝わる

太陽から地球までは、約1億5000万キロメートルもはなれています。地球の周りには空気がありますが、宇宙には空気もなく、熱を伝える物質もないので、太陽の熱は、放射によって地球にやってきます。

太陽から出ている熱が強く、熱の量も非常に多いので、太陽の熱は、放射によって地球までとどくのです。（監修・国司 真）

